NPO法人 全日本聴覚障害スキー指導員会

平成２３年度　第８回定期総会議案書

とき　　平成２３年　７月　９日～１０日

ところ　愛知県名古屋市　HOTEL WING INTERNATIONAL 名古屋

～スケジュール～

※理事会は午前10時～12時に実施しますので、理事の方は10時までに会場にご参集くださるよう、よろしくおねがいします。

７月９日（土）

12:30～13:00　受付（入会・継続の会費受付）

13:00～15:00　総会

１．開会通告
２．会長挨拶
３．総会議長選出
４．議事録署名人選出
５．書記の指名
６．定足数確認
７．審議事項
　第１号議案　平成２２年度事業報告
　第２号議案　平成２２年度収支決算報告及び監査報告
　第３号議案　平成２３年度事業計画案
　第４号議案　平成２３年度収支予算案
　第５号議案　平成２３～２４年度理事・監事改選
　≪休憩　14:30 頃を目安に≫
８．その他
９．閉会通告
１０．事務連絡（新入会員紹介、準・正指受検者紹介、来年度総会場所の紹介）
１１．閉会の挨拶

ここから新会員の挙手OK

【もちもの】忘れずに！！

・有資格者（指導員・準指導員）は各自の指導員（インストラクター）ネームプレートを持参してください。
・一般会員の方には、こちらで準備いたします。
・この総会資料は必ずご持参ください。

【総会以外の予定】

7月9日　分科会終了後
17:00～18:00　フリー（入浴等）
18:00～21:00　夕食（交流会）
21:00～　　フリー（2次会など）

7月10日　懇親会終了後
12:30～　昼食
14:00　　解散又はフリー

15:15～17:00　報告会（はじめに書記と翌日の報告者を決めること）

【内容】

（１）　第４回デフわんぱくポール体験教室（開催中止）の準備についての報告
（２）　聾学校スキー教室派遣の報告

７月１０日（日）

懇親会（ディスカッション）（9:00～11:30）　…　全員

（１）今後の行事について（デフ技術選種目の変更など）
（２）その他（来年度行事のＰＲ、再来年の総会場所決定ほか）

書式第９号（法第２８条関係）

平成 ２２年 度　　事 業 報 告 書

平成２２年　６月　１日から平成２３年　５月３１日まで

特定非営利活動法人全日本聴覚障害スキー指導員会

１．事業の成果

当年度は、（１）聴覚障害者のスキー技術の向上を図る為、第８回西日本ブロックスキー講習会を実施、全日本聴覚障害スキー技術選手権大会を開催しました。（２）聴覚障害児のスキー普及活動の促進を図る為、例年どおり２校のスキー教室への講師派遣と、新たに１校のスキー教室に講師を派遣しました。（３）聴覚障害者へのスキー啓発・広報を目的として、以前から継続しているホームページを通じて活動の紹介や情報の提供をしました。以上の３点を重点課題として下記5の事業に着手しました。

（１）の聴覚障害者のスキー技術向上について二つの事業を計画していましたが、正月に計画していた「正月レベルアップ合宿」は主管団体（大阪デフSC）の準備都合により中止としました。２月に計画していた「第８回西日本ブロックスキー講習会」は継続事業として兵庫県奥神鍋スキー場で開催し、西日本在住の聴覚障害者を対象に実施しました。８回目となる今回は指導担当者を豊富に揃え、指導の経験も様々な指導員が協力し担当することで、参加者の要望に幅広く対応することが可能になりました。また指導員相互の指導技術交流と継承につながり、指導員の資質向上につながりました。３月に長野県菅平高原スキー場で「第１３回全日本聴覚障害スキー技術選手権大会」を開催し、29名の参加者を集めて盛大に行われました。この大会は日本国内における聴覚障害者のスキー技術を競う最高峰の大会となっております。

（２）の聴覚障害児を対象としたスキー教室については、主催事業として毎年開催し、好評を博していたデフわんぱくポール体験教室が、3月下旬に予定してましたが、東日本を襲った大震災の影響で実施困難と判断し、開催を断念いたしました。
継続事業となっているろう学校スキー教室派遣事業は、昨年に引き神戸聴覚特別支援学校スキー教室が兵庫県ハチ北スキー場で開催され、高等部の生徒に対し６名の講師を派遣しました。岡山ろう学校スキー教室は鳥取県大山ホワイトリゾートスキー場で開催され、高等部の生徒を対象に３名の講師を派遣しました。この派遣事業は、講師の宿泊費及び交通費が自己負担となっています。これまでは大和ハウスの助成金、その他を利用してその費用に充てていましたが、助成金に頼ることを前提に事業を継続していくのでは無く、今後少しずつ学校側の理解を得ながら費用の捻出方法を考えていく必要を感じています。
また、今年度新たに神奈川県川崎市の特別支援学校からスキー教室の依頼があり、中学生8名に対し1名の講師を派遣しました。東日本初めての学校のスキー教室への講師派遣でしたが、指導の成果に対し高い好評を得ました。来年度につながる講師派遣になり、今後継続した講師派遣になる手ごたえを感じました。

（３）聴覚障害者へのスキー啓発・広報の活動としては、スキー用語手話の活動実績はありませんが、（財）全日本ろうあ連盟スポーツ委員会が確定した技術スキーのサイン用語（６３単語）を、引き続き当会のホームページに掲載し不特定多数の方に活用してもらっています。

（１）特定非営利活動に係る事業

事業名	内　容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額（千円）
スキー指導に関する事業	正月レベルアップ合宿	事業中止				0.0
同　上	神戸聴覚特別支援学校 スキー教室派遣	１月２６日 ～１月２８日	兵庫県 ハチ北スキー場	６名	神戸聴覚特別支援学校 高等部　２５名	0.0
同　上	川崎ろう学校中学部移動教室	２月２日 ～２月４日	山梨県 ふじてんスキー場	１名	川崎ろう学校 中学部　８名	0.0
同　上	岡山ろう学校スキー教室	２月２日 ～２月４日	鳥取県 だいせんホワイトリゾートスキー場	３名	岡山ろう学校 高等部　７名	0.0
同　上	第8回 西日本ブロックスキー講習会	２月１１日 ～２月１３日	兵庫県 奥神鍋スキー場	１０名	西日本在住の聴覚障害児・者２９名	695.6
全日本聴覚障害スキー技術選手権大会の開催事業	第１４回 全日本聴覚障害スキー 技術選手権大会	３月５日 ～３月６日	長野県 菅平高原スキー場	８名	全国の聴覚障害者 ２９名	175.9
スキー指導に関する事業	第４回 デフわんぱくポール体験教室	東日本大震災の影響で事業中止	長野県 乗鞍高原スキー場	２１名	全国の聴覚障害者 ５７名	407.9
聴覚障害者へのスキー啓発・広報	ホームページを通じて、活動内容を不特定多数の方に紹介した。また情報交換の場として、機関誌などの発行、総会の開催	通年	事務所	５名	不特定多数	20.0

書式第１２号（法第２８条関係）収支計算書

平成22年度 特定非営利活動に係わる事業会計収支計算書

平成２２年　６月　１日から平成２３年　５月３１日まで

特定非営利活動法人全日本聴覚障害スキー指導員会

（単位：円）

科　目	金　額		
Ⅰ　収入の部			
1　会費・入会金収入			
入会金収入	0		
会費収入	112,000	112,000	
2　事業収入			
(1)　スキー指導に関する事業	726,610		
(2)　大会開催に関する事業	150,000		
(3)　啓発・広報に関する事業	339,000		
(4)　手話に関する事業	0	1,215,610	
3　補助金等収入			
助成金収入	924,000	924,000	
4　寄附金収入			
	0	0	
5　その他収入			
利息収入	3,253		
立替金収入	9,800	13,053	
当期収入合計			2,264,663
前期繰越収支差額			2,153,548
収　入　合　計			4,418,211
Ⅱ　支出の部			
1　事業費			
(1)　スキー指導に関する事業	1,131,092		
(2)　大会開催に関する事業	175,932		
(3)　情報保障に関する事業	0		
(4)　啓発・広報に関する事業	393,165		
(5)　手話に関する事業	0	1,700,189	
2　管理費			
什器備品費	116,707		
光熱水費	0		
消耗品費	9,611		
渉外費	4,000		
会議費	16,920		
通信運搬費	36,125		
印刷製本費	7,326		
分担金	0		
租税公課	0	190,689	
3　その他			
預かり金返金	60,305	60,305	
4　予備費			
予備費		0	
当期支出合計			1,951,183
当期収支差額			2,467,028
次期繰越収支差額			2,467,028

書式第１０号（法第１０条関係）財産目録

平成22年度 特定非営利活動に係わる事業会計財産目録

平成２３年　５月３１日作成

特定非営利活動法人全日本聴覚障害スキー指導員会

（単位：円）

科　目	金　額		
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
現金予算			
現金	0		
普通預金			
（１）ゆうちょ銀行	772,786		
（２）三菱東京UFJ銀行	55,856		
（３）みずほ銀行	638,386		
定期預金			
（１）みずほ銀行	1,000,000		
流動資産合計		2,467,028	
2　固定資産			
土地	0		
建物	0		
固定資産合計		0	
資産合計			2,467,028
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
短期借入	0		
預り金	656,865		
流動負債合計		656,865	
2　固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			656,865
正味財産			1,810,163

書式第１１号（法第２８条関係）貸借対照表

平成22年度特定非営利活動に関わる事業会計貸借対照表

平成２３年　５月３１日現在

特定非営利活動法人全日本聴覚障害スキー指導員会

（単位：円）

科　　　　目	金	額	
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
現金預金	2,467,028		
未収入金	0		
流　動　資　産　合　計		2,467,028	
2　固定資産			
土地	0		
建物	0		
固　定　資　産　合　計		0	
資　　産　　合　　計			2,467,028
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
短期借入金	0		
預かり金	656,865		
流　動　負　債　合　計		656,865	
2　固定負債			
長期借入金	0		
固　定　負　債　合　計		0	
負　　債　　合　　計			656,865
Ⅲ　正味財産の部			
前期繰越正味財産		1,952,448	
当期正味財産増減額		(142,285)	
正味財産合計			1,810,163
負債及び正味財産合計			2,467,028

監査報告書

特定非営利活動法人全日本聴覚障害スキー指導員会

会長　土師　比佐夫　殿

平成２２年度（平成２２年６月１日から平成２３年５月３１日まで）における特定非営利活動法人全日本聴覚障害スキー指導員会の財産の状況及び業務執行の状況について監査を行った結果、収支計算書、貸借対照表、財産目録はいずれも正確に記載されており、財産の管理等業務執行は法令、定款に従い適切になされているものと認めます。

平成２３年６月２５日

特定非営利活動法人全日本聴覚障害スキー指導員会

監事　　呉竹　一人　（呉竹）

監事　　川上　典男　（川上）

書式第７号

平成 ２３年 度　事 業 計 画 書

平成２３年　６月　１日から平成２４年　５月３１日まで

特定非営利活動法人全日本聴覚障害スキー指導員会

1．事業実施の方針

前年度からの事業を継続する。

2．事業の実施に関する事項

（1）特定非営利活動に係る事業

事業名	事　業　内　容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額（千円）
スキー指導に関する事業	正月レベルアップ合宿	１２月３１日～１月　３日	未定	５名	全国の聴覚障害者の約２０名	0.0
同　上	神戸聴覚特別支援学校 スキー教室派遣	１月２５日～１月２７日	兵庫県 神鍋スキー場	５～７名	神戸聴覚特別支援学校 中学部 約３８名	0.0
スキー指導に関する事業	川崎ろう学校中学部移動教室	２月初旬予定	未定	２名	川崎ろう学校 中学部の約１０名	0.0
同　上	第９回 西日本ブロックスキー講習会 (兼デフわんぱくスキー教室)	２月１１日～２月１２日	兵庫県 奥神鍋スキー場	１０名	西日本在住の聴覚障害児・者の約３０名	500.0
同　上	岡山ろう学校スキー教室	２月１日～２月３日	鳥取県 だいせんホワイトリゾートスキー場	３名	岡山ろう学校 高等部　１１名	0.0
全日本聴覚障害スキー技術選手権大会の開催事業	第１５回 全日本聴覚障害スキー技術選手権大会	２月２４日～２月２６日	長野県 菅平高原スキー場	８名	全国の聴覚障害者の約５０名	330.0
スキー指導に関する事業	第５回 デフわんぱくスキー教室	１月２７日～１月２９日	長野県 菅平高原スキー場	２０名	全国の聴覚障害児の約５０名	2,600.0
聴覚障害者へのスキー啓発・広報	ホームページを通じて、活動内容を不特定多数の方に紹介した。また情報交換の場として、機関誌などの発行、総会の開催	通年	事務所	５名	不特定多数	20.0

書式第８号（法第１０条関係）収支予算書

平成23年度 特定非営利活動に係わる事業会計収支予算書

平成２３年　６月　１日から平成２４年　５月３１日まで

特定非営利活動法人全日本聴覚障害スキー指導員会

（単位：円）

科　　　目	金	額	
Ⅰ　収入の部			
１　会費・入会金収入			
入会金収入	2,000		
会費収入	110,000	112,000	
２　事業収入			
(1)　スキー指導に関する事業	3,500,000		
(2)　大会開催に関する事業	250,000		
(3)　啓発・広報に関する事業	350,000		
(4)　手話に関する事業	0	4,100,000	
３　補助金等収入			
助成金収入	1,200,000	1,200,000	
４　寄附金収入			
	0	0	
５　その他収入			
利息収入	3,000		
立替金収入	10,000	13,000	
当期収入合計			5,425,000
前期繰越収支差額			2,485,633
収　入　合　計			7,910,633
Ⅱ　支出の部			
１　事業費			
(1)　スキー指導に関する事業	4,700,000		
(2)　大会開催に関する事業	200,000		
(3)　情報保障に関する事業	30,000		
(4)　啓発・広報に関する事業	350,000		
(5)　手話に関する事業	10,000	5,290,000	
２　管理費			
什器備品費	150,000		
光熱水費	0		
消耗品費	20,000		
渉外費	5,000		
会議費	50,000		
通信運搬費	25,000		
印刷製本費	50,000		
分担金	0		
租税公課	2,000	302,000	
３　その他			
預かり金返金	516,070	516,070	
４　予備費			
予備費		0	
当期支出合計			6,108,070
当期収支差額			1,802,563
次期繰越収支差額			1,802,563